

# もっと広がる学びの機会！ 山手コンソ

## を利用しよう

## 縦糸と横糸

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

現在、私は大学図書館長という帽子をかぶっていますが、いつもは幾何学という「形」を扱う数学者です。宇宙の形を表現する相対性理論には、anthropological universeという言葉がでてきます。これは直訳すると人間の宇宙ですが、もう少し踏み込んだ解釈は、「人間の脳が想像できる範囲の世界」です。この宇宙には私たちが想像さえできないことがたくさんあるという前提で、理(ことわり)の探究を謙虚に進めましょうという感じでしょうか。



図書館長  
山田 澄生

人間であるという営みは長い年月にわたって代々に渡って継承されてきました。その痕跡は、私たち一人ひとりの儂い人生を縦糸として繋がれ、人類の歴史として共有されています。大学で受ける授業、大学図書館にある本は全てanthropologyの記録です。一方で、学習院大学のキャンパスは、これから4年間、新入生の皆さんに同時代に生きるという横糸を紡ぐ場を提供します。

謙虚に、そして夢と志を持って、素晴らしい布を織ってください。

上智大学図書館が山手コンソに加盟して、2026年4月1日から10大学の図書館による相互利用が始まりました。今号の特集では山手コンソの拡大を記念して、加盟館の皆様にご協力いただき各館の蔵書構成の特徴と蔵書数を紹介させていただきます。読みたい本が学習院大学図書館に無くても大丈夫！山手コンソを利用して学びの機会を広げましょう！

# もっと広がる学びの機会！ 山手コンソを利用しよう

## 立教大学図書館

<https://library.rikkyo.ac.jp/>

アクセス：JR「池袋駅」から徒歩約7分、他

池袋図書館と新座図書館があり、各キャンパスの学部・研究科に関連した資料を中心に、池袋図書館では約132万冊、新座図書館では約26万冊を所蔵しています。また、新座キャンパスには、原則的に利用者が直接来館利用することがない保存書庫（約50万冊）があり、こちらの資料は池袋・新座両図書館に取り寄せての利用が可能です。

## 法政大学図書館

<https://www.hosei.ac.jp/library/>

アクセス：JR「市ヶ谷駅」から徒歩10分、他

大学全体で3つの図書館があり、蔵書数は約171万冊（各資料室の蔵書は除く）。いずれも山手コンソとして利用可能です。各図書館はキャンパス毎の学部に関連した資料を主とした蔵書構成です。市ヶ谷図書館は人文・社会科学を中心に約75万冊、多摩図書館は社会科学中心に約84万冊、小金井図書館は自然科学、技術・工業、産業分野を中心に約12万冊を所蔵しています。

## 東洋大学附属図書館

<https://www.toyo.ac.jp/library/>

アクセス：地下鉄「白山駅」から徒歩5分、他

大学全体で4つの図書館があり、蔵書数は約154万冊。いずれも山手コンソとして利用可能です。白山図書館は文学・社会科学・国際学・観光学系資料を約96万冊所蔵しています。他にも川越図書館は理工学・情報学系約21万冊、朝霞図書館は生命科学・食環境学系約9万冊、赤羽台図書館は福祉学・デザイン学・スポーツ科学系約28万冊をそれぞれ所蔵しています。

## 専修大学図書館

<https://www.senshu-u.ac.jp/library/>

アクセス：小田急線「向ヶ丘遊園駅」から徒歩14分、他

全部で5つの図書館があり、全体の蔵書数は約203万冊。その内3つの図書館は山手コンソで利用可能です。生田キャンパスにある本館は、人文・社会科学を中心に約140万冊を所蔵しています。神田キャンパスには、研究用図書を中心に約50万冊を所蔵する神田分館、主に学修用の図書約2万冊を所蔵するKnowledge Baseがあります。所蔵資料は別のキャンパスへの取り寄せも可能です。

## 國學院大學図書館

<https://kaiser.kokugakuin.ac.jp/>

アクセス：JR「渋谷駅」から徒歩約13分、他

渋谷図書館は、神道・歴史・文学・法律・経済学関係の専門書を中心に約143万冊の資料を所蔵しています。入口は学術メディアセンター2階にあります。大学併設の博物館（企画展示）では、図書館の蔵書が展示される機会もあります。たまプラーザ図書館は、初等教育・保育・スポーツ・観光・地域開発・社会学関係を中心に約22万冊の実学系の資料を所蔵しています。



## 山手線沿線 私立大学図書館コンソーシアム (山手コンソ)とは

2000年3月に8大学の図書館が相互利用に関する協定を締結して発足しました。加盟大学に所属する学生・教職員は、資料の閲覧や貸出のサービスを相互に利用できます（雑誌は貸出不可）。利用できない期間やサービス内容もありますので事前に確認しましょう。なお、訪問した際には各大学図書館のルールに従って利用してください。

サービス期間や利用の詳細はこちらを参照→



## 青山学院大学図書館

<https://www.agulin.aoyama.ac.jp/>

アクセス：地下鉄「表参道駅」から徒歩5分、他

青山本館と万代記念図書館があり、本館は社会科学・人文系の図書を中心に約122万冊、万代記念図書館は約86万冊を所蔵しています。本館は、2024年4月に青山学院創立150周年を記念して開館した「18号館（マクレイ記念館）」の2階～6階に位置し、2階には、日本聖書協会から寄託を受けた貴重な聖書を展示する、シャローム・ライブラリーも設置されています。

## 明治学院大学図書館

<https://www.meijigakuin.ac.jp/library/>

アクセス：地下鉄「白台駅」から徒歩約7分、他

白金図書館と横浜図書館があり、白金図書館は学院の歴史に関わる貴重書や、人文社会系を中心とした学部構成により構築された蔵書を中心に約83万冊所蔵、横浜図書館は国際関連の書籍、語学書、初年次生向けの図書など約39万冊を所蔵しています。

## 上智大学図書館

新加盟

<https://www.lib.sophia.ac.jp/#>

アクセス：JR「四ツ谷駅」から徒歩3分、他

四谷キャンパスの中央図書館は、人文・社会・理工系の学術資料を網羅的に所蔵する総合図書館です。蔵書約109万冊のうち約半数が洋書という特色があります。資料は地下2階～地上9階の11フロアに体系的に配架しています。なお、主に看護分野の資料を所蔵する目白聖母キャンパス図書室（約3万冊）は訪問利用を受け付けていませんが、中央図書館に取り寄せての貸出利用が可能です。

## 明治大学図書館

<https://www.meiji.ac.jp/library/index.html>

アクセス：JR「御茶ノ水駅」から徒歩約3分、他

大学全体で4つの図書館があり、全体の蔵書数は約216万冊です。その中で山手コンソとして利用可能な中央図書館は約126万冊、和泉図書館は人文科学・社会科学系の資料を中心に約40万冊、2025年度に新館が開館した生田図書館は理工・農学系の資料を中心に約44万冊をそれぞれ所蔵しています。中野図書館（約5万冊）は利用不可ですが、中野以外の図書館に取り寄せての利用が可能です。

## 他にもあります！ 相互利用協定を結んでいる大学図書館

次に挙げる大学図書館においても相互利用可能です。山手コンソと同様に利用できない期間やサービス内容もありますので事前に確認しましょう。利用の際は各大学図書館のルールに従ってください。

### 【入館・閲覧・貸出可の協定（雑誌は貸出不可）】

#### ●五大学協定校

五大学とは、旧制高等学校をルーツに持つ大学であり、成蹊大学、成城大学、武蔵大学、甲南大学（兵庫県）、そして学習院大学による5学園のことです。これらの五大学で相互に利用できます。

#### ●日本女子大学図書館

本学目白キャンパスと同じJR「目白駅」が最寄り駅の日本女子大学と相互利用協定を締結しています。目白駅からは徒歩約15分の距離にあります。

### 【入館・閲覧可の協定】

●聖心女子大学は入館・閲覧が可能です。貸出はできません。

●f-Campus制度を利用して早稲田大学の授業を受講している学生は、早稲田大学中央図書館の他、早稲田大学の一部の図書館の入館・閲覧が可能です。貸出はできません。

※協定校以外の利用については、レファレンスカウンターにご相談ください。

サービス期間や  
利用の詳細は  
こちらを参照→



### 経済学部経済学科 滝澤 美帆 教授

写真は、私の研究室の本棚ですが、御覧のとおり、それほど本は多くありません。研究室にあるのは、主にマクロ経済学や計量経済学、データ分析の専門書。いずれも研究や授業のための「道具」として置いているものです。

私は本を読んだら、あまり手元に残しません。自宅の本棚も、実はあまり変わりません。ただ一つ特徴があるとすれば、その年の経済学関係の賞にエントリーされた本が並ぶことでしょう。毎年入れ替わるため、本棚の顔ぶれは常に変化します。その年にどのようなテーマが注目され、どのような問題意識が共有されているのかを知るための「定点観測」のような役割を果たしています。しかし翌年には、また別の本へと入れ替わります。



並ぶ本は、その時々に関心や問題意識を映す鏡です。そして棚の片隅にある漫画は、少し肩の力を抜いて世界を眺めるための、大事な余白なのかもしれません。

その中で、なぜか手放さずに残しているものがあります。漫画です。『鬼灯の冷徹』や『出禁のモグラ』といった作品は、折に触れて読み返します。緻密な世界観や独特のユーモア、社会や人間への視線の鋭さは、経済学とは別の角度から物事を考えるきっかけを与えてくれます。

本を所有することよりも、問いを更新することの方が大切だと思っています。だから私の本棚は、あまり厚みを増しません。それでも、そこに



### 来ぶらり No.124 2026年4月13日

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

発行責任者：図書館長 山田澄生 編集委員：生田陽子・山脇治

総合カウンター（内線 2397）： ☎ 03-5992-1009（直通） レファレンスカウンター（内線 2396）： ☎ 03-5992-9249（直通）

「来ぶらり」のバックナンバーは大学図書館Webサイトで公開しています。

